

俳句ポスト 春の部 特選句

森悦子 選(白山市俳句協会)

海鳴りに慣れし暮しや初御講	相川新町	米林 牧子
轆轤師の十指の力日脚伸ぶ	能美市	北野 忠男
結び目に父の癖あり炭俵	愛知県	与玖 法破来
夕暮れの荒磯に牡蠣をたたく音	東京都	右田 俊郎
工房に夜業の灯り春立てり	野々市市	藤谷 幸恵
遺されし花種を蒔く懇ろに	能美市	森田 香津美
縫物は祖母に習ひし落の臺	神奈川県	さくらんぼ
若鮎の光の束となり昇る	相木町	戸村 導
磯船の河口にならぶ目借時	八ツ矢町	門田 いく江
水のしわ斜めに走る代田かな	福井県	桑島 真喜栄
花筏乱して鯉の影躍る	東京都	山口 高二
野遊びの走り来る子ら風となる	東京都	井澤 勝代
蜆汁緊張の糸ゆるみたり	柏町	大浦 春美
囃や野菜スープのできあがる	相川町	松田 千代子
青空を切つて飛びゆくつばめたち	金沢市	齊木 康次
加賀平野神楽太鼓が春を呼ぶ	横江町	安達 信行
鳥語ふる臘扇堂の若楓	新成二丁目	石尾 サチコ
守りたし家族のやうな燕の巢	横江町	大藪 智子
惜春や皇后さまの旅の詩	黒瀬町	宮本 登代子
むらさきは立子の色よ藤の花	金沢市	今村 征一

選者吟

春灯キルトの青の宇宙かな

悦子

〈平成31年2月～4月 投句者数 347人、投句数 1622句〉